

中学生体験学習事業

【事業の目的】

中学生が体験学習を通して、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活が持続できるよう現代の様々な問題を直視し、ESD（持続可能な開発のための教育）の理念に則り、生徒自らが新たな価値観や行動変容を生み出し、持続可能な社会を創造していく態度を育む。

学校における教育環境は ICT 教育の進展により、スクリーンを通して瞬時に情報入手が可能となり、バーチャルな体験や空間に出会うことが日常化されている。将来の愛西市を担い、市や社会に潜む問題を自分事として主体的に考え、身近なところから取り組んでいく生徒を育むため、直接、現地視察・調査をはじめとする実体験学習を行い、本物と出会い、本物が持つ迫力や背景・雰囲気を経験し、関心・意欲を増し、生徒一人一人の学習意欲を喚起する。

【事業検討経緯】

＜内部検討委員会＞

教育長・部長・企画政策部参事・次長・課長・主幹・補佐＋佐織中校長・佐織西中校長の 9 名

第 1 回	6/23	会の趣旨、今後のスケジュールを確認
第 2 回	6/30	事業目的案、視察先について検討
第 3 回	7/8	事業目的、視察先の概案決定

＜愛西市中学生体験学習事業検討委員会＞

教育長・木曾川下流河川事務所副所長・津島高等学校長・愛西市教育委員・企画政策部参事・佐織中学校長・佐織西中学校長の 7 名

第 1 回	7/19	会の趣旨・事業目的・事業スケジュールについて検討
第 2 回	9/21	事業候補地の現地視察について検討
第 3 回	12/21	現地視察報告・事業基本計画の策定

【今後の予定】

各中学校との打合せ

費用負担等の決定

業者選定

令和 5 年度事業開始